



平成 21 年 8 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社サガミチェーン
(コード番号 9900)
代表者氏名 代表取締役社長 小塚 照男
連 絡 者 取締役
管理本部担当 伊藤 修二
電 話 番 号 (052) 771-2126

特別損失の発生及び繰延税金資産の取崩し ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年1月期第2四半期累計期間におきまして、特別損失の計上及び繰延税金資産を取崩す見込みであります。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成21年3月4日に公表いたしました平成22年1月期第2四半期累計期間（平成21年1月21日～平成21年7月20日）及び平成22年1月期（平成21年1月21日～平成22年1月20日）の業績予想数値を下記のとおり修正いたしました。

記

1. 特別損失の計上見込み

平成22年1月期第2四半期決算において、固定資産の減損に係る会計基準に基づき、当社グループの資産（建物及び構築物、機械装置及び運搬具、器具及び備品、土地及びその他）につき減損損失を計上の見込みであります。また、店舗閉鎖に伴う店舗閉鎖損失、既存店改装に伴う固定資産除却損も計上の見込みであります。

	連結	個別
減損損失の計上額	732百万円	732百万円
店舗閉鎖損失の計上額	83百万円	69百万円
固定資産除却損の計上額	22百万円	15百万円
平成22年1月期第2四半期累計期間	838百万円	817百万円

2. 繰延税金資産の取崩しについて

繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討いたしました結果、平成22年1月期第2四半期決算におきましては、繰延税金資産を取崩すことといたしました。これにより、法人税等調整額に1億63百万円を計上する見込みです。

3. 平成22年1月期第2四半期累計期間の業績予想の修正

(平成21年1月21日～平成21年7月20日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,630	△90	△75	△200	△8.1
今回修正予想 (B)	10,940	△380	△360	△1,400	△57.3
増減額 (B - A)	△690	△290	△285	△1,200	△49.2
増減率 (%)	△5.9	—	—	—	—
前期実績 (平成20年7月期)	12,483	△174	△171	△477	△19.5

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,205	△150	△138	△240	△9.8
今回修正予想 (B)	9,680	△385	△380	△1,410	△57.8
増減額 (B - A)	△525	△235	△242	△1,170	△48.0
増減率 (%)	△5.1	—	—	—	—
前期実績 (平成20年7月期)	11,041	△233	△205	△463	△18.9

4. 平成22年1月期の業績予想の修正

(平成21年1月21日～平成22年1月20日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	24,000	310	330	△25	△1.0
今回修正予想 (B)	22,950	△350	△320	△1,870	△76.6
増減額 (B - A)	△1,050	△660	△650	△1,845	△75.6
増減率 (%)	△4.3	—	—	—	—
前期実績 (平成21年1月期)	25,582	267	227	△549	△22.5

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,200	285	300	△50	△2.0
今回修正予想 (B)	19,870	△300	△290	△1,800	△73.8
増減額 (B - A)	△1,330	△585	△590	△1,750	△71.8
増減率 (%)	△6.2	—	—	—	—
前期実績 (平成21年1月期)	22,821	164	210	△501	△20.5

5. 修正の理由

(1) 平成22年1月期第2四半期累計期間の業績予想の修正について

- ① 平成21年3月4日発表の業績予想(以下 期初予想)における和食麺類店「サガミ」の既存店売上高は前年同期比 3.7%減を想定しておりましたが、客単価の減少等により期初予想を4.9%ポイント下回る8.6%減となりました。これにより、売上高は期初予想に対し690百万円の減収となる見通しです。
- ② 売上原価率につきましては、期初予想の30.6%に対し0.7%ポイント上回る31.2%となる見通しです。販管費につきましては、期初予想において前年同期比781百万円の経費削減を計画しておりましたが、これを264百万円上回り前年同期比1,045百万円の経費削減となる見通しです。
- ③ 経費削減については計画を上回る進捗状況ではあるものの、既存店売上高が想定を下回ることから、期初予想に対し営業利益290百万円・経常利益285百万円の減益となる見通しです。
- ④ 既存店の収益性が低下したことにより減損損失等が増加し、特別損失を838百万円計上する見通しです。また、繰延税金資産を163百万円取崩す予定であり、これにより、当期純損失は期初予想に対し1,200百万円の減益となる見通しです。
- ⑤ 個別業績予想につきましても、同理由により修正いたしました。

(2) 平成22年1月期の業績予想の修正について

- ① 通期の既存店売上高の見通しにつきましては、前年同期比7.2%減を想定しております。これは、上期実績に加え第2四半期の期初予想増減率に基づき、下期既存店売上高を見直したためであります。これにより、売上高は期初予想に対し1,050百万円の減収となる見通しです。
- ② 経費削減については、概ね計画通りの進捗状況であると判断しております。しかしながら、既存店売上高が前提条件を下回る見通しであることから、期初予想に対し営業利益660百万円・経常利益650百万円それぞれ減益となる見通しです。
- ③ 下期の特別損失につきましては、店舗閉鎖計画等により453百万円を想定し、通期の特別損失は1,292百万円を計上する見込みです。これにより、当期純損失は期初予想に対し1,845百万円の減益となる見通しです。
- ④ 当社は現在、中期計画を策定中であるものの、先行きに対する不透明感が拭えないことから、下期の業績動向を精査する必要があると判断しております。従って、計画の具体的な施策及び影響額等については、修正予想に見込んでおりません。
- ⑤ 個別業績予想につきましても、同理由により修正いたしました。

以上